

Rapport

Asahikawa Kosei Hospital



人間ドック

2023
10



人間ドック料金について

※必ず本人が電話で事前予約をしてください。 ※職場などを通して申込まれても予約になりませんのでご注意ください。 ※健保・事業所によって自己負担額が異なります。

人間ドック	料金(税込)	検査内容	備 考
	44,000円	身体測定、血液検査、便潜血検査、レントゲン検査、胃バリウム検査等の基本項目	※土曜ドックも実施しております。詳細は下記の健康推進課までお問い合わせください。 ※お使いの保険証によって、人間ドック料金自体の金額や補助金額が異なります。 詳細は保険者、または下記の健康推進課までお問い合わせください。

オプション検査	料金(税込)	検査内容	お勧めしたい方
胃内視鏡検査 1日 20名まで R5.10末現在	3,300円	鼻から内視鏡を挿入して、食道・胃・十二指腸の観察と診断を行います	○ピロリ菌感染の既往のある方 ○萎縮性胃炎、胃潰瘍と診断されたことがある方 ○胃がんの家族歴がある方 ○ 胃バリウム検査に不向きな方 ： 腸閉塞・大腸憩室炎の既往、胃や腸の手術後、誤嚥しやすい、筋力が低下している、便秘がひどい、腎不全・心不全で水分制限をしている、アレルギーがあるなど
肺ドック 1日 4名まで ※結果は後日郵送	11,000円	胸部X線検査では指摘しにくい病変の有無をCT検査で確認します。喀痰検査で悪性細胞の有無を確認します	○喫煙歴のある方 ○受動喫煙の環境にある方 ○40歳以上の方 ※心臓ペースメーカーが入っている方はお受けできません
脳ドック 1日 5名まで ※頸動脈エコー検査との同時受診はできません ※結果は後日郵送	19,800円	MR検査で、脳動脈瘤や脳梗塞の有無、動脈硬化、脳萎縮の度合い、腫瘍の有無などを調べます	○血圧が高めの方 ○肥満の方 ○脂質、血糖値が高めの方 ○喫煙歴のある方 ※心臓ペースメーカーや脳室シャントなど体内に金属が入っている方、閉所恐怖症の方、入れ墨やアートメイクが入っている方はお受けできません ※コンタクトレンズをご使用の方は、外して検査を行います
頸動脈エコー検査 1日 5名まで ※脳ドックとの同時受診はできません	3,850円	超音波検査で頸動脈の動脈硬化の度合いや狭窄の有無を調べます	○血圧が高めの方 ○肥満の方 ○脂質、血糖値が高めの方 ○喫煙歴のある方 ※脳梗塞で治療中の方は、主治医にご相談のうえお申込みください

オプション検査	料金(税込)	検査内容	お勧めしたい方
胃がんリスク検査 (ABC検診)	4,730円	血液検査でピロリ菌の感染の有無と萎縮性胃炎の程度を調べ、胃がんのリスクを判定します	○今までにピロリ菌の検査を受けていない方 ○萎縮性胃炎、胃潰瘍と診断されたことがある方 ○胃がんの家族歴がある方 ※胃酸を抑える薬を飲んでいる方、胃全摘術後の方はお受けできません
ペプシノゲン検査 ※ピロリ菌の感染有無の判定は含まれていません	2,530円	血液検査で萎縮性胃炎の程度を調べ、胃がんのリスクを判定します	○萎縮性胃炎、胃潰瘍と診断されたことがある方 ○胃がんの家族歴がある方 ※胃酸を抑える薬を飲んでいる方、胃全摘術後の方はお受けできません
前立腺がん検診	2,750円	血液検査(PSAという腫瘍マーカー)で前立腺がんの可能性を調べます	○50歳以上の男性 ○前立腺がんの家族歴のある方
乳がん検診 ※結果は後日郵送	今年度40～49歳になる女性 (2方向) 6,050円 上記以外(1方向) 4,950円	マンモグラフィー(乳房専用のX線検査)で乳がんの有無を調べます	○すべての成人女性 ○乳がんの家族歴がある方 ○最低でも2年に一度の検査が推奨されています ※授乳中の方、心臓ペースメーカー、脳室シャントやCVポートを体内に挿入されている方は、お受けできません 乳腺疾患で治療中の方は、主治医にご相談のうえお申込みください
子宮頸部がん検診 ※結果は後日郵送	3,300円	子宮頸部の細胞を採取し、悪性細胞の有無を確認します	○すべての成人女性
動脈硬化検査 (ABI/PWV)	2,200円	脈波の伝わり方や手と足の血圧の比較で、動脈硬化の度合いや下肢の血管のつまりの有無を調べます	○血圧が高めの方 ○肥満の方 ○脂質、血糖値が高めの方 ○喫煙歴のある方 ○足が冷えやすい方や運動するとすぐに足が疲れる方 ※胸部、腹部に動脈瘤、足に血栓がある方はお受けできません ※透析でシャントがある方、乳がんで手術後の方は事前にお知らせください
BNP検査	2,530円	血液検査で心臓(心筋)にかかっている負担の程度を評価します	○血圧が高めの方 ○肥満の方 ○脂質、血糖値が高めの方 ○喫煙歴のある方
骨粗しょう症検診	1,540円	前腕骨の骨密度を測定し、骨粗しょう症の評価をします	○50歳以上の男女 ○卵巣の手術をした方 ○閉経後の方

■PET検診の詳細	
☐ 検診項目・・・血液検査(一般・生化学・腫瘍マーカー)、PET/CT撮影 ☐ 検査時間・・・約2時間30分(14時から開始した場合、17時には終了) ☐ 検診料金・・・88,000円(税込) ※クレジットカードのご利用可	・PET検診は、がん細胞にとりこまれやすい特殊な薬剤を投与した後、PET/CT装置で体内の薬剤集積部位を特定するもので、高い感度で全身のがんの早期発見に力を発揮します。ただし、高血糖、炎症、臓器や腫瘍の種類で精度が低下する弱点もあるため、当院では人間ドック受診後6か月以内の方を条件とし、血液データや腫瘍マーカーと併せて、より正確な診断に努めています。
■お問い合わせ・お申込み／旭川厚生病院 健康推進課 TEL:0166-33-7171(内線2176)	



J A 北海道厚生連 **旭川厚生病院** 旭川厚生病院 検索
〒078-8211 北海道旭川市1条通24丁目111-3 TEL.0166-33-7171 FAX.0166-33-6075

「Rapport (ラポール)」とは、フランス語で「つながり」「架け橋」、心理学用語で「信頼関係」を意味する言葉です。本誌は、旭川市のシンボル「旭橋」のように地域の皆様と当院がつながり、信頼関係を築けるような広報誌を目指します。

取材・編集／東洋株式会社 旭川支店

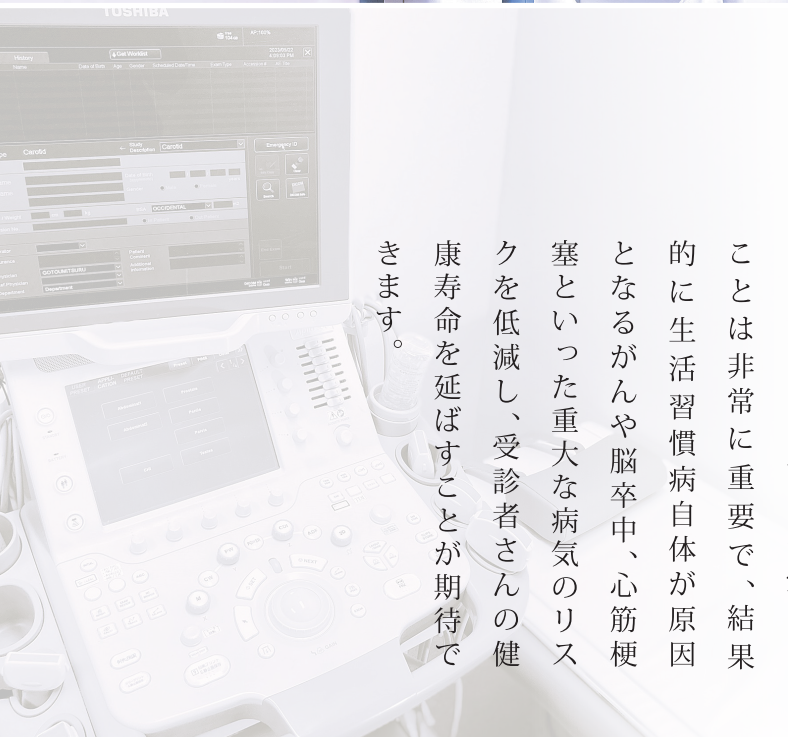


旭川厚生病院
ホームページ



Instagram
アカウント名

asahikawakosei_hospital



人間ドックは受けたほうが良い？

現在の健康状態だけでなく、
将来のリスクを把握できることも

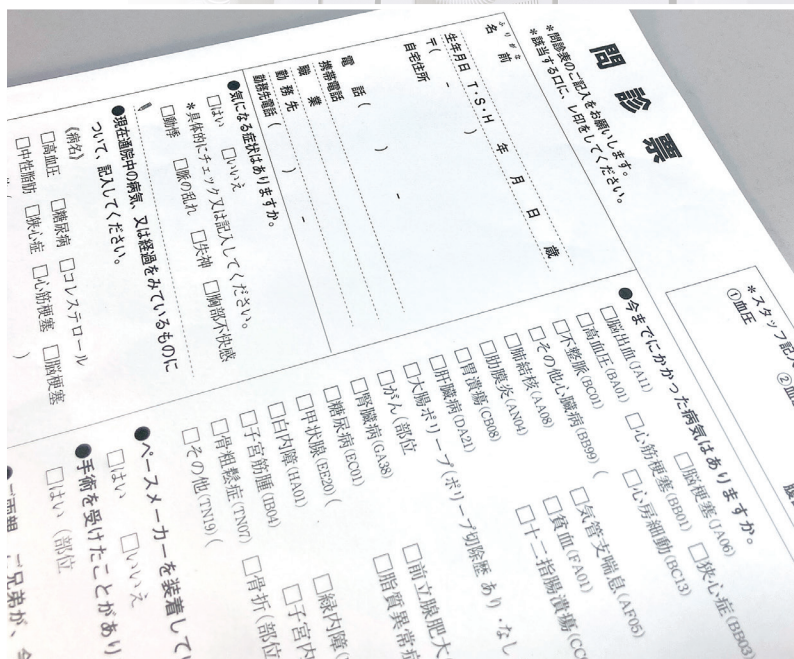
ことは非常に重要で、結果的に生活習慣病自体が原因となるがんや脳卒中、心筋梗塞といった重大な病気のリスクを低減し、受診者さんの健康寿命を延ばすことが期待できます。

人間ドックは、身体計測やレントゲン検査、超音波検査、血液検査、医療面接などを行い、「自覚症状のない病気」や「病気になる可能性がある異常」を見つけ、早期発見や予防を目指すための総合的な健診です。

人間ドックでよく発見される疾患が高血圧や糖尿病、脂質異常症などに代表される生活習慣病です。生活習慣病はしばしば痛みや苦しさがなく、症状として現れにくいため、症状を自覚した時には重症化しているといったケースも少なくありません。

そのため、保健師から食事や運動、肥満、喫煙、飲酒などの生活習慣について、早期に改善のアドバイスを受ける

人間ドックは、身体計測やレントゲン検査、超音波検査、血液検査、医療面接などを行い、「自覚症状のない病気」や「病気になる可能性がある異常」を見つけ、早期発見や予防を目指すための総合的な健診です。



がん検診としての側面 予防と早期発見

人間ドックは、がんを早期に発見できる事もメリットの一つです。生活習慣病と同じく、未然に防ぐ、早期に発見する事が重要で、定期的に人間ドックを受診していれば、たとえばがんが発見されたとしても、早い段階で治療へと移行することができ、転移を伴うような大きながんへと進行してしまう前に対処することも可能です。

また、当センターでは胃内視鏡検査（胃カメラ）の実施を推進しております。胃だけではなく食道も観察できることから、早期胃がんや、食道がんの発見に大いに役立ちます。

旭川厚生病院における 人間ドックの特長

旭川厚生病院健診センターは病院併設の健診施設です。そのため、要精密検査となった場合には、専門的な診療科への受診予約の調整とともに健診結果の情報共有も行い、病院診療へのスムーズな移行体制が整っているのが特長です。

さらに、がん治療においては「がん診療拠点病院」及び「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けており、がん遺伝子パネル検査などを通して、より精度の高いがん治療の選択も可能となりました。当センターの人間ドックでは、各種オプション検査やPET検査、脳梗塞、心筋梗塞の検査などをご用意し、皆様のこれからの健康増進・維持をサポート致します。

受診について、詳しくは旭川厚生病院健診センターまでお問い合わせください。



健康管理課
主任部長 有里 智志

日本人間ドック学会人間ドック認定医
日本核医学会PET核医学認定医
日本医師会認定産業医

経鼻内視鏡
実寸サイズ

先端部径
5.8mm



さらに、口からの内視鏡と比べ、経鼻の場合は、内視鏡スコープの直径がとても細く、鼻の穴から食道に入っていくため、苦痛が少なく検査ができます。そのほか、ドックでは肺がん、大腸がん、婦人科がん、前立腺がんなど様々ながんに対する検査を実施できるため、がんの早期発見にはとても良い機会となります。

PET 検診

ブドウ糖代謝薬剤でがん細胞を可視化

現在、日本人の死亡原因のトップは、「悪性新生物」で割合としてはおよそ26%となっています。悪性新生物、つまり、がん細胞は通常の細胞と比較し、高い代謝活動を行い、分裂が盛んに行われ、多量のブドウ糖を必要とする特徴があります。

このがん細胞の特異な性質を利用し、PET/CT検査ではブドウ糖に似た薬剤（FDG）が使用されます。この薬剤はブドウ糖と同様にがん細胞に集積し、それを可視化することで、がんがどこにあるのか、あ

るいはがんの広がり具合・転移している場所など判別することが出来ます。一部の体の部位では正確な判別が難しい場合もあります。CTやMRIの結果と組み合わせることで、治療法や範囲の決定に非常に役立つ検査です。

また、PET/CT検査は一度の検査で全身を捉えることができるため、予期せぬ場所に広がっているがんも発見できます。治療効果の評価や再発の有無の確認にも有用で、PET/CT検査によって、より適切な治療方針へ見直しを行ったケースも少なくありません。

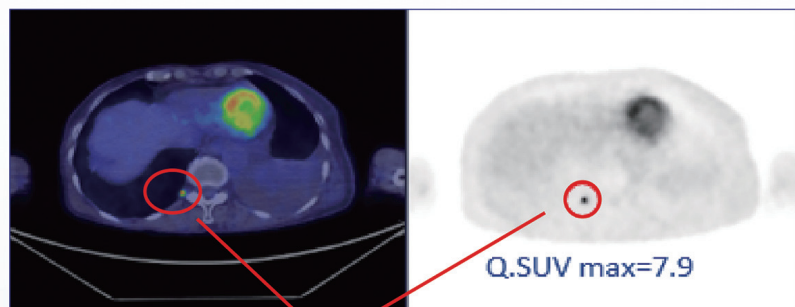


クオリティの高いPET/CTを導入

2022年12月、旭川厚生病院では新しい半導体検出型PET/CT装置への刷新を果たしました。それまでの装置は道北エリアに初めてPET/CTとして導入された装置で、17年間稼働していましたが、技術は大きく進歩し、1cm程度であった病変の最小検出サイズが、3mmのものまで検出可能となりました。導入当初は、従来装置では撮像されなかったものが、高解像で撮像され、画質が大きく変化したことから、医療者側が驚くほどでした。

がん診療においてPET検査が保険適用されるのは、既にがんが確認されており、他の検査では病期や転移・再発の診断が難しい場合が基本となりますが、当院の健診センターでは、がんの早期発見を望む方

や、通常のがん検診よりも詳しく検査されたい方、喫煙歴などがんのリスクファクターに不安を抱える方々に向けて、PET検診をご案内しています。ご興味があれば、ぜひこの機会にご検討ください。



見えにくい微小ながん細胞でも発見する事が可能です。